



ハイエースは乗用車に比べると遮音性や静肃性ではかなわない。しかし楽しく会話しながらのドライブや車中泊での快適性をアップさせるために静かな車内を作りたい。そんなニーズにこたえてFEEL・豊橋店では積極的に静音施工を実施。車内の静肃性をアップすることでハイエースを快適にグレードアップする実用的力スケムを提案する。

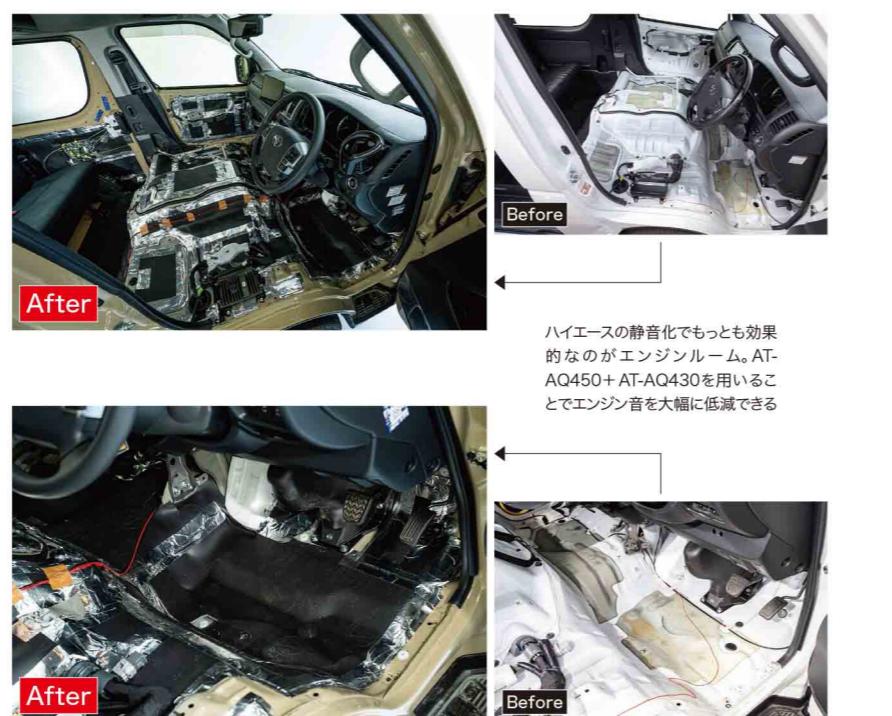
(スライドドア含む)、ルーフそしてルーフまで。いずれの部分にもベースには制振効果の高いAT-AQ450を施工し、その上から最適なアイテムを重ね貼りする。中でもっとも効果的なのがエンジンルーム周りだ。ここには遮音・断熱・吸音の効果のある施工箇所はエンジンルームまわりを含むフロア全面、サイドウォール、

ルーフライナーを外すと制振材(AT-AQ450)の上からは遮熱&防音に効果があるAT-AQ490が全面に貼られているのがわかる。車中泊で気になる雨音が緩和され、エアコンの効きも向上する



ルーフライナーを外すと制振材(AT-AQ450)の上からは遮熱&防音に効果があるAT-AQ490が全面に貼られているのがわかる。車中泊で気になる雨音が緩和され、エアコンの効きも向上する

フロアからサイドウォール、さらにはピラーにはくまなくAT-AQ430を施工し車外からノイズをカットする



ハイエースの静音化でもっとも効果的なのがエンジンルーム。AT-AQ450+AT-AQ430を用いることでエンジン音を大幅に低減できる

実際に試乗してみるとその静音効果は高くエンジン音が遠くに聞こえる印象。さらに車内の静音性もアップして同乗者の会話も鮮明でクリアに聞こえる。荷室から聞こえるゴーッと音が緩和され、エアコンの効きも良くなっているのがわかる。

普段使いから車中泊まで、車内の静寂性を高めることでハイエースはさらに快適になることがわかる仕上がりだった。

ハイエースは乗用車に比べると遮音性や静肃性ではかなわない。しかし楽しく会話しながらのドライブや車中泊での快適性をアップさせるために静かな車内を作りたい。そんなニーズにこたえてFEEL・豊橋店では積極的に静音施工を実施。車内の静肃性をアップすることでハイエースを快適にグレードアップする実用的力スケムを提案する。

使用している部材はオーディオテクニカのアクワイエシリーズ。制振、防音、遮音、断熱／遮熱などの性能を備えた幅広い部材をラインアップする信頼のブランドだ。そんなアクワイエの各部材を施工した車両を取材した。施工箇所はエンジンルームまわりを含むフロア全面、サイドウォール、

## ハイエースのウイークポイントを克服する実用アイテム

**Audio-Technica  
AquieT**

[オーディオテクニカ・アクワイエ]

○オーディオテクニカお客様相談窓口  
TEL 0120-773-417  
<https://www.audio-technica.co.jp/>  
PHOTO / 芝 修、木村隆之 TEXT / 土田康弘



### SPEC&PRICE

■ AT-AQ450 ¥3,300(バイプレーションコントローラー/制振材)

材質: プチゴム・アルミニウム/外径寸法: 500×250mm 厚さ2.3mm 2個入り

■ AT-AQ430 ¥2,860(ノイズレスラグ/吸音・断熱・遮音材)

材質: 合成ゴム・ポリエチレンフォーム/外形寸法: 500×150mm 厚さ6mm 5個入り

■ AT-AQ490 ¥3,080(ヒートシールドラグ/遮熱・断熱・吸音材)

材質: アルミニウム・ガラス繊維・ポリエチレンフォーム・NBR/

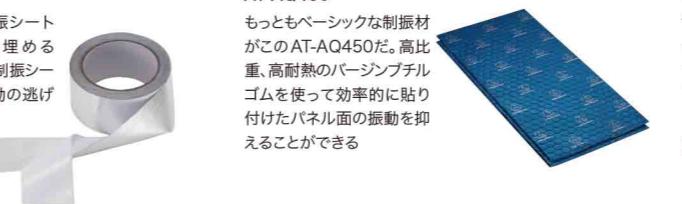
外形寸法: 500×150mm 厚さ8mm 5個入り

■ AT-AQ495 ¥1,760(アルミガラスクロステープ/制振材)

材質: アルミニウム・ガラス繊維/外形寸法: 15m×50mm 厚さ0.18mm 1個入り

### AT-AQ495

それぞれの制振シートなどの隙間を埋めるAT-AQ495は制振シートの補強や振動の逃げを防ぐ

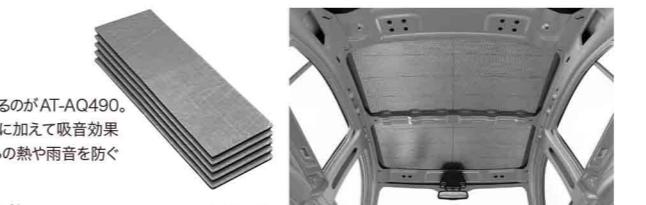


### AT-AQ450

もっともベーシックな制振材がこのAT-AQ450だ。高比重、高耐熱のバージンブチルゴムを使って効率的に貼り付けたパネル面の振動を抑えることができる

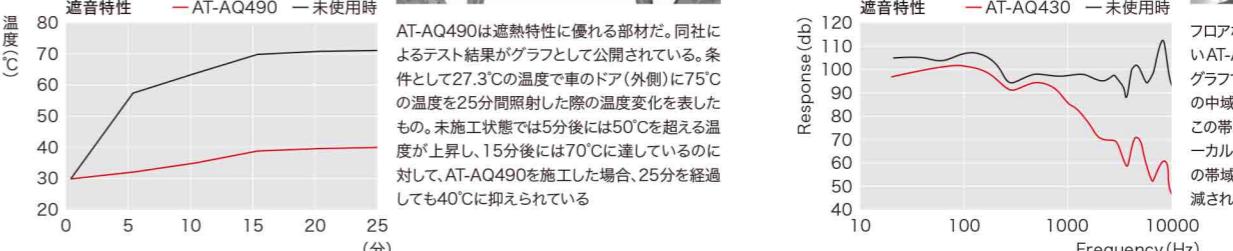
### AT-AQ490

主に天井に用いるのがAT-AQ490。遮熱・断熱効果に加えて吸音効果があり、天井からの熱や雨音を防ぐ



### AT-AQ430

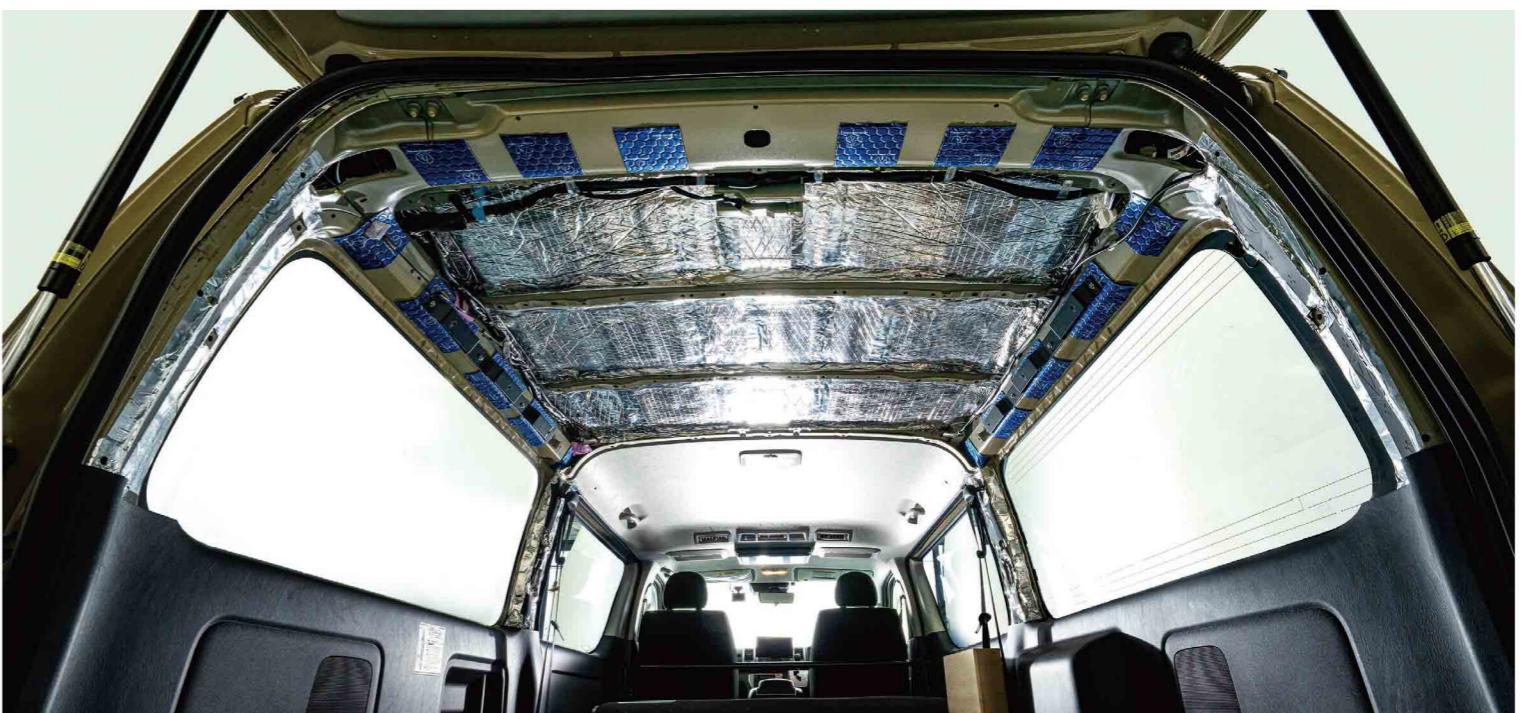
フロアやサイドウォールなどで貼ることで遮音を実現するAT-AQ430。ロードノイズの遮断に効果的な性能を持つ



AT-AQ490は遮音特性に優れる部材だ。同社によるテスト結果がグラフとして公開されている。条件として27.3°Cの温度で車のドア(外側)に75°Cの温度を25分間照射した際の温度変化を表したもの。未施工状態では5分後には50°Cを超える温度が上昇し、15分後には70°Cに達しているのにに対して、AT-AQ490を施工した場合、25分を経過しても40°Cに抑えられている

フロアなどからのノイズの侵入を防ぐ遮音効果が高いAT-AQ430。具体的に周波数ごとの遮音性能がグラフで公開されている。これを見ると特に1kHz～の中域＆高域で大きく遮音効果が高いのがわかる。

この帯域はアナログバイオリソ、フレートや一部のボーカルなどが含まれる中音域～高音域にあたり、この帯域のノイズが低減される耳障りなノイズが低減され車内がクリアになる傾向にある



FEEL TOYOHASHI  
愛知県豊橋市佐藤  
1丁目3番地17  
TEL 0532-39-7444  
定休日: 火曜・水曜日



FEEL 豊橋・店長  
亀田直久さん  
これまで亀田さんが担当したユーザーを見ると静音処理はエンジンルーム→ルーフ→フル施工の順で進化させるケースが多いという。



内外装、足まわりカスタムはもちろん、制振材を使った静音処理にも精通したFEEL・豊橋。グループ店にオーディオ専門ショップのクレヴァーズもあり静音処理の技術レベルの高さも信頼できる。



サイドウォールにもAT-AQ450+AT-AQ430を重ねて用いる。制振に加えて遮音効果を高めることでロードノイズなどの抑制に役立つ



30